

3 月号
VOL. 495

土會奈良



SHIKAI
2017 NARA

表紙のことば

ノートルダム寺院



大聖堂内



ガーゴイル

フランス・パリの中心、セーヌ河岸のシテ島に有る、カトリック教会の大聖堂。ゴシック建築の代表する建物であり、1991年にユネスコの世界遺産に登録された。ノートルダムとは、フランス語で「われらが貴婦人」、即ち聖母マリアを指す。1163年着工・改造・改築を行い、180年を費やして最終的竣工は、1345年に完成。700年前より続いている。全長127.5m、高さ69m、幅12.5mとそれまでにない、壮大なスケールの大聖堂を完成させた。1831年の小説「ノートルダム・ド・パリ」（ノートルダムのせむし男）の舞台になった。大聖堂の内には、9000人を収容でき、歴代のフランス王の戴冠式が行われた大聖堂。パリのど真ん中に位置し、ルーブル美術館と共にパリ散策に欠かせない観光名所の一つです。入場料は無料、但し、2Fは有料8.50€。写真撮影OK、フラッシュ撮影は禁止。内部のステンドグラス（バラ窓）や建物の壁面についているガーゴイル（怪物の石像）も有名です。

（写真・文 提供 出原 真）

情報・広報委員会

委員長 松尾 憲治

副委員長 折目 貴司 大倉 克之

委員 乾井 哲 水守 寛敏
松村 泰徳 小松原寛俊
崎山 泰正 福西 保夫
福本 保治 藤井 靖彦
宮浦 重彦

Contents

001

第59回建築士会全国大会「大分大会」
連合会環境部会セッション

002

日本建築総合試験所
鋼と建築 第6回「高力ボルトを
活用した柱梁接合システム」

004

近畿建築祭 京都大会
リリーススピーチ
エクスカーショ
ン「山とまちを望む景観」
エクスカーショ
ン「町家美術館見学」

008

奈良県景観デザイン賞2016
受賞作品決定

010

近畿あーきてくとVol. 24
「山とまちと木造建築」

011

平成29年 新年大交歓会レポート

014

青年委員会
一級・二級及び木造建築士
合格者祝賀会・見学会

015

生駒支部
「地震災害への備え」をテーマにした
避難所運営ゲームの体験

016

青年委員会
春日大社国宝殿講演会及び見学会

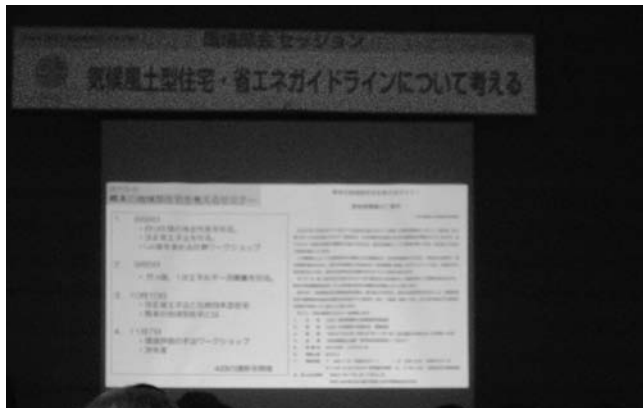
017

お知らせ
「平成29年建築士試験」他



第59回建築士会 全国大会「大分大会」続報 連合会環境部会セッション

「環境部会活動報告と今後の展開」では、「気候風土型住宅・省エネガイドラインについて考える」と題して、別府コンベンションセンター会議室31には、地域の特性を活かした住宅を手掛ける技術者が多数集まった。



平成27年7月に公布された「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」が法制化される頃に、鋼製建具の製造と販売をする大手企業から営業が訪ねてきた。そもそもそんな話が嫌いな私に、図や表の数字を分かりやすく説明してくれたのを覚えている。揚げ足をとって抵抗をする私を尻目に話をやめようともせず、挙句の果てには、近い将来の家の断面図を示してくれた。それは、屋根の上に太陽光発電の機材が搭載され、小屋裏には熱交換型の換気扇が屋外まで筒でつながれている。窓の硝子は三重で、高効率の給湯機が備え付けられている。この手の話を聞いたたびに目にする同じ絵だ。鋼製建具の製造会社ではあるが、窓の枠の部材は樹脂が良いと言っている。開口部は熱の損失がないように、小さくするのだそうだ。これからの日本の家はこうだと胸を張っている。困ったものだ。密集市街地や、年中、窓を開けることが困難な地域の話ならば分かんなくもないが、それを日本全国のいたるところで実践をする話ではあるまい。ここは奈良である。

温室効果炭素の排出量を削減するにあたり、我が国の約束を実現するために、家庭部門に目を向けたことには理解ができる。各家庭での生活のなかで、消費をする熱量が、戸建て住宅の性能によるところであるのもわかる。しかし、それをひとところに押し込んでしまっただけは、日本の住宅文化はどこへ行くのであろう。法整備の時に、そのような声は、当然上っていたわけで、法制化に際しては「地域の気候風土に対応した伝統的構法の建築物などの承継を可能とする仕組みを検討すること」とされ、その後、すぐに、経済産業省と国土交通省から外皮基準の適用が困難であると認められるものには適用しないと経過措置として附則がされた。これが「気候風土適応住宅」である。

今年3月末に国土交通省から所管行政庁あてに、「地域の気候及び風土に応じた住宅であることにより外皮基準に適合させることが困難であると認める際の判断について（技術的助言）」が通達された。つまり、各地域での伝統的な工法の継承や、気候、風土、文化に根差した住まいづくりや住まい方を含めた日本の住宅文化の良さの再発見、普及に向けた「和の住まい」を推進するということだ。この推進体制は関係省庁で連絡会議を設けている。掲げると文化庁、農林水産省、林野庁、建材産業省、国土交通省、観光庁である。そして、国土交通省からは「和の住まいの推進」が発信され、この中で公開をしている。誰でも閲覧ができるので、一度みられたい。

「気候風土適応住宅」の特徴とその例は難しくはない。大きく5つの観点からとらえられている。(1) 様式・形態・空間構成は地域や外部環境に固有の気象要素（外気温、日射、外部風など）の活用や制御に資する、地域に根ざした住宅の様式や形態、空間構成に関する特徴が考えられる。具体的には縁側などである。(2) 構工法に関しては、地域で旧来より用いられてきた構造方式や構造材の使用方式、劣化外力となる地域の気象要素に対する耐久性向上に資する住宅各部の材料・構法などに関する特徴が掲げられる。土壁や手刻みによる伝統的な継ぎ手や仕口も含まれる。

(3) 材料・生産体制として、地域で生産・供給される建築材料の使用、地域の生産者や職人が住宅生産に関与する仕組みなどに関する特徴には、自然素材の使用や大工などの職人の登用が考えられる。(4) 景観形成として、地域のまちなみや集落景観の維持保全に資する、建物や外構の構成、形態、材料などに関する特徴が考えられる。(5) 住まい方として、地域でこれまで培われてきた暮らしを継承しているとみられる住まい方に関する特徴があるかどうかである。設備に頼らない暮らしもそのひとつだ。

奈良県でも所管行政庁が必要と認める要素を、取り扱うことだと察する。その認定方法は3つある。①国の技術助言を参考に認定する。②地域独自に策定した認定指針をもとに認定する。③他地域の認定指針を参考に認定する。

いずれにしても、奈良県には地域の風土をもとに、伝統的な建造物がたくさんあり、その特徴も表現するには顕著な設えを備えている。上記の①②③は十分に参考にできることであるが、その認定については、決められたのちに追従していくのではなく、実績が豊富な現場の実務者が意見を出したうえで、認定されることを望むところである。当会が関係所管行政との連絡調整をとりながら進めるのが望ましいと考える。

(記・生駒支部 伏見康司)



1. はじめに

この連載の最後に、高力ボルト(HTB)接合を主体とした2種類の構法を紹介したい。どちらも共通のキーワードは「柱の切断・溶接不要、仕口周りの現場溶接不要」である。

2. 方杖接合構造

鋼構造建築物の9割強を占めているのは中低層小規模建築物である。中でも、1995兵庫県南部地震時に被害が多かった間口1スパンのペンシルビルにも適用可能な構造として考案したのが図1の柱梁接合構法である。

図1では、高力ボルト接合が容易に可能なように、柱と梁にはどちらもH形鋼を使用している。柱と梁の接合箇所は、軸力材である方杖ダンパー両端と梁の上フランジである。梁端と柱の間隙は、地震荷重による柱の傾斜角を吸収するためのものである。柱、梁の加工は切断、ボルト孔開けとスチフナの隅肉溶接だけである。蛇足ながら、図1は地震力を受けて柱が傾いた状態を表している。

図1のように、下側のみに方杖を配置したものをS型という。方杖を梁の上下に配置するD型も可能で、外周構面やコア周りに適用できる。図1の接合部の施工はHTBの締付のみで、特殊な技能を必要としないので、工事管理の手間も溶接接合に比べると格段に少なくて済む。

方杖ダンパーは座屈拘束材であり、大地震のときにはこのダンパー芯材の塑性変形によってエネルギーを吸収し、柱と梁は弾性域に留めて損傷しないように設計する。

様々な要素実験や部材実験を積み重ね、最終的には図2、図3に示す実大骨組実験を実施した。方杖は梁間方向の2構面、および長辺方向の中柱両側に設置している。水平荷重は3階柱の反曲点位置に設置した加力トラスを介してX(長辺)、Y(短辺)各方向、および45度方向に作用させた。

結果の一部を図4に示す。横軸は1、2階の平均層間変位角である。崩壊型は想定どおりであり、同時に行われた

同じ寸法・耐力の角形鋼管柱ラーメン構造に比べて剛性は1.5倍ほどで、変形能力も優れていることが実証された。

3. 分割外ダイヤ仕口構法

角形鋼管柱を切断せずに梁と接合できる外ダイヤフラム形式の仕口に関しては、以前から神戸大学の金谷・田淵研究室で研究が進められ、学会指針¹⁾にも取り入れられてきた。筆者らは、高力ボルト接合を活用した外ダイヤフラム

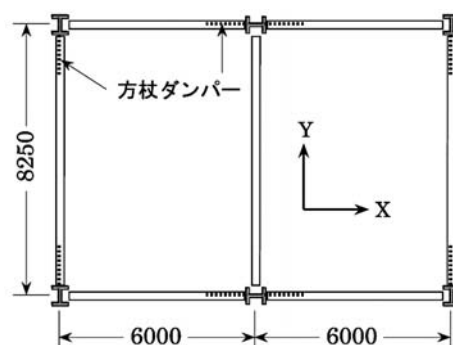


図2 実大試験体の床伏と方杖ダンパーの設置箇所

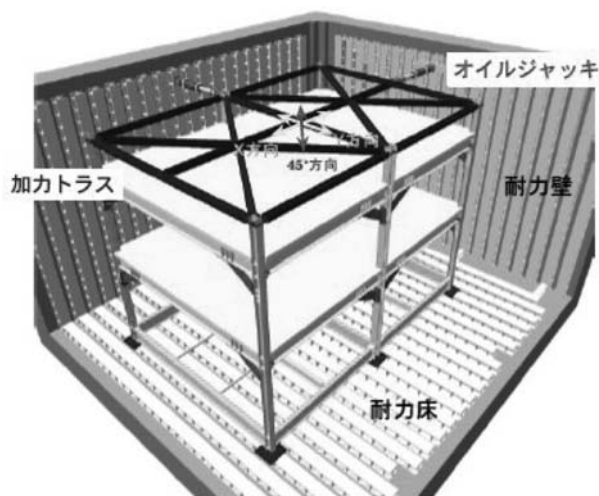


図3 実大試験体と加力方法

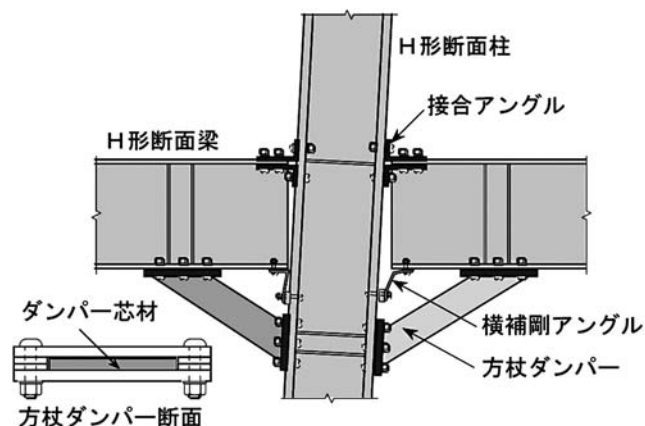


図1 方杖ダンパーを用いた高力ボルト接合部

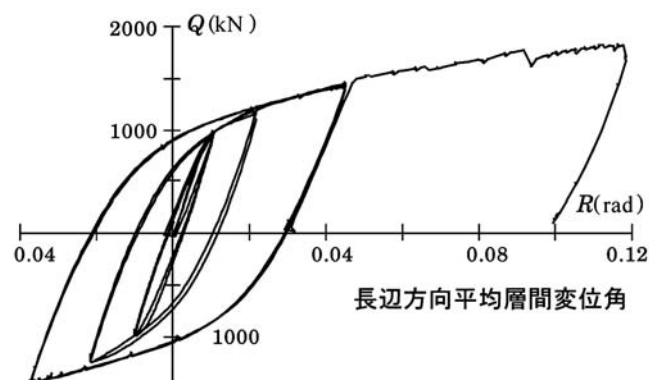


図4 長辺方向の層せん断力-平均層間変位角関係

略 歴

井上一郎 (いのうえ かずお)

(一財)日本建築総合試験所 副理事長・試験研究センター長。工学博士。
1946年福岡県生まれ。1970年九州大学大学院工学研究科建築学専攻修了。
日立造船(株)鉄構設計部、大阪大学工学部・助手、助教授、京都大学大学院
工学研究科・教授、岡山理科大学総合情報学部建築学科・教授を経て現職。

賞 罰

1997年 日本建築学会学会賞(論文)受賞。1998年 日本鋼構造協会奨励賞
論文部門受賞、2008年 日本鋼構造協会論文賞受賞

形式を考案し²⁾、その概要を図5に示す。ダイアフラムを2分割としたのは、仕口周りの施工性を考慮した結果による。2枚のダイアフラムを溶接する必要はない。コンクリート充填鋼管(CFT)柱では、コンクリート充填性が良い。梁のHTB継手にはアルミ溶射添板とF14T超高力ボルトを適用し、外ダイアフラム寸法のコンパクト化を図った。外ダイアフラムと柱との溶接は等脚隅肉ないし異形隅肉であり、溶接部の破断を避けるために梁の最大耐力に対して短期許容耐力に収まるよう設計することとしている。

4. 塑性変形能力比較実験

文献³⁾では、表1に示す4種類の柱梁接合部をもつ試験体の繰返し載荷実験を実施し、塑性変形能力を比較している。No.1、2は従来型の通しダイアフラム形式、No.3は図5に示す仕口形式で、試験体の仕口を図6に示す。方杖接

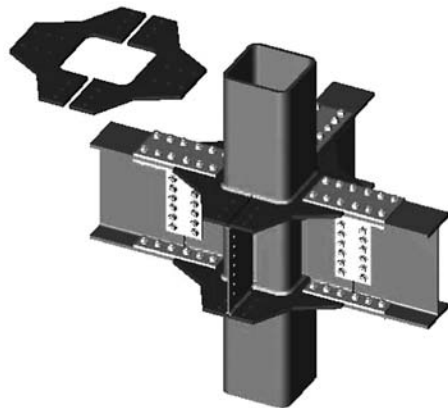


図5 分割外ダイアフラム形式の柱梁仕口

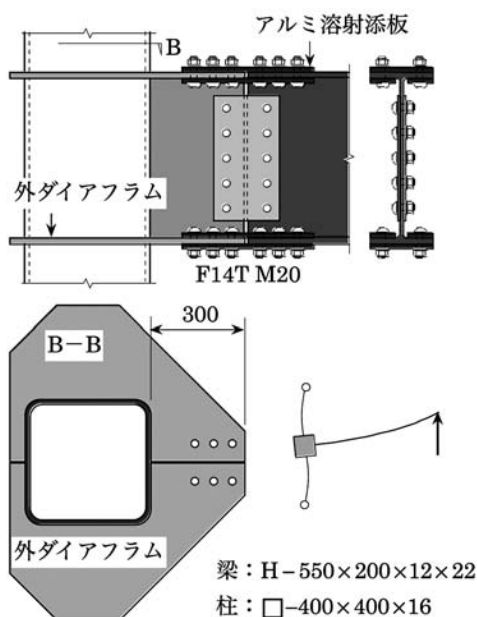


図6 分割外ダイアフラム形式のNo.3試験体・柱梁仕口

表1 試験体一覧と塑性変形能力に関する実験値

試験体	接合形式	備考	η
No.1	通しダイアフラム	工場溶接タイプ(ノンスカラップ)	110
No.2		現場溶接タイプ(JASS6型スカラップ)	59
No.3	外ダイアフラム	2分割外ダイア、アルミ溶射添板	185
No.4	方杖ダンパー接合	D型	314

合形式のNo.4はH形断面柱であるが、それ以外はすべて角形鋼管(BCR)で、梁の断面寸法とともに図6に示す。

各試験体の最終破壊状況は下記のとおりである。

- ・No.1は局部座屈による耐力低下
- ・No.2はスカラップ底からの延性破断
- ・No.3はフランジボルトの破断(1本のみ)
- ・No.4は方杖ダンパーの延性破断

表1の右欄に示されている累積塑性変形倍率 η は塑性変形の総量を弾性限変形で除した無次元量であり、エネルギー吸収能力の指標を表すもので、 η が大きいほど塑性変形能力が高いことになる。極大地震に対する η の必要値は50程度と言われている。No.1、2の η は、通しダイアフラム形式に関する既往の実験値の中では最高位にある。一方で、No.3、4の η は他と比べて群を抜いている

5. おわりに

溶接と高力ボルトは適材適所で活用すべきで、どちらか一方にこだわると無理が出る。要は真の実力が不明な溶接には十分な安全率をとって命を預けない(溶接部を塑性化させない)ことが原則だろう。

このような考えの下で、大学に在籍中に本稿で紹介した方杖接合構造や分割外ダイアフラム仕口に取り組んできたのだが、残念ながらどちらの構法も適用事例は今のところ1棟だけである。どちらも大部分の鋼構造建物を占める中低層を対象に開発を進めてきたのだが、図5の仕口形式はいきなり「あべのハルカス」に採用された。他方、高力ボルト本数の削減につながるアルミ溶射添板の使用実績は徐々に広がっているようだ。

以上、とりとめもない話の連続になり恐縮しているが、1年近くにわたって駄文にお付き合い頂いたことに深謝して稿を閉じる。

参考資料

- 1) 日本建築学会：鋼構造接合部設計指針4.2.5, 2012
- 2) 松尾真太郎, 田中剛, 井上一郎：外ダイアフラム形式角形鋼管柱梁接合部の設計式, 日本建築学会構造系論文集, 第618号, pp.218-228, 2007.8
- 3) 山崎雅弘, 聲高裕治, 松尾真太郎：鋼構造柱梁接合部の塑性変形能力比較のための実験的研究, J S S C 鋼構造論文集, 第17巻68号, pp.101-111, 2010.12



第36回近畿建築祭「京都大会」リリーススピーチ

第36回近畿建築祭「京都大会」が、平成28年12月3日、会場、東本願寺北側・真宗教化センター、しんらん交流館で行われました。

式典は開会宣言に続き前に、京都府建築士会 衛藤照夫会長の挨拶、今回のテーマは「山とまちと木造建築」で私達にとって大切な森林資源であり母なる自然である「山」。暮らしの場である「まち」これらをつないできた「木造建築」。そこから生活文化を見出す。



次に日本建築士会連合会会長 三井所清典氏の挨拶、近畿建築士協議会代表会長・大阪府建築士会会長 岡本森廣氏の挨拶、京都府知事代理様・国土交通省様の来賓祝辞、及び京都市長 角川大作氏来賓祝辞、来賓者様の紹介と続きました。



最後に次回開催の第37回近畿建築祭（2018年開催）滋賀県建築士会への大会旗の引き継ぎが行われ、次期開催地・滋賀県建築士会会長 山本勝義氏のご挨拶。京都府建築士会副会長の閉会の挨拶で式典は終了しました。

記念式典に引き続き近畿各府県各位様によるリリースピ

ーチが開催されました。[山]・[里]・[景色]・[木づかい]・[まち]・[くらし]をテーマに各府県での取り組みを短い時間に凝縮したスピーチでした。

【山】：～山の恵みを活かす知恵～

（弁士 奈良県 伏見康司氏）



川上村は吉野林業の中心地です。古くから恵まれた自然と風土のなか豊富な天然林が生い茂っています。林業の現状を山で知り、地域材の連携体制化の家づくりを提唱された時に、特に吉野の杉、桧を川上村で招致する。受け継がれてきた山、素晴らしい資源を多方面へ活かして流す源流として、活用の好循環を呼び戻したい。

【里】：～里山保全と地域住民との共同活動～

（弁士 滋賀県 竹田久志氏）



滋賀県の南東部に位置する甲賀市今郷地区、当地の里山で実施している、「薪作り」を通した里山保全活動と薪ストーブユーザーと地域住民との共同活動についての発表。

【景色】：～「紀ノ國の景色」人と山と川と海の風景～

（弁士 和歌山県 中西重裕氏）

「山」 日高郡美山村の寒川住宅。山里の田園風景の中の茅葺の建物と蔵。「川」 橋本市の池永住宅。縁側から庭を望むと土を盛り上げた堤の向こうに紀の川の雄大な景色が広



がる。「海」和歌山市和歌浦の石泉閣。全室から海が眺められる贅沢。歴史的建造物の座敷から見える「山」「川」「海」と結んだ時、対岸の景色や稜線を維持する事が重要であることがわかります。

【木づかい】：～2 x 4に学ぶ在来軸組工法の新しい耐震作法の「きづかい」～

(弁士 兵庫県 西原誠助氏)



熊本地震では2000年基準の住宅も19棟が全壊・倒壊しました。2000年の在来軸組工法の3つのキーワードは①十分な耐力壁の確保・②バランスのよい耐力壁の配置・③主要構造材の金物補強・です。しかし、2 x 4工法は阪神淡路大震災時や東日本大震災でも大きな被害は見受けられませんでした。2 x 4は意匠図に箱の区画割表示を示しています。RC壁構造の木造版です。在来軸組工法の3つのキーワードに加えて、4つ目のキーワードに「箱の集合体」という「きづかい」を取りいれれば、確実に強くなると確信いたします。

【まち】：～「やま」から「まち」へ「よこ」から「たて」に～

(弁士 大阪府 徳岡浩二氏)

大阪の黄金期は戦前戦後を通じて昭和16年頃で、人口は約325万人、72万8千世帯、住民生活は土地区画整理による長屋がささえていました。木造長屋は15間を超えてはい



けない、長屋間は3尺以上の距離をとる、などが定められ、今に痕跡を残しています。現在、戦災を免れた長屋も都市化の波にさらされ、町並みは失われつつあります。素材は木から鉄とガラスとコンクリートになり、現代的な建売やマンション、大通りに近いところでは超高層化が進んでいる「住文化」としての長屋の後世に残すべき価値と高層木造住宅の可能性を考えてみたい。

【くらし】：～日々のくらしのお手伝い～

(弁士 京都府 吉田玲奈氏)



弁士は乳幼児を抱きながらの弁舌

京都で木造住宅、町屋などの改修工事を行っています。京都には町屋と呼ばれている80年以上前に建てられた木造の建物が今も多く残っています。町屋の改修工事というのは、まず痛みを診断した、処置して、住まいてさんの元に帰す、お医者さんのような仕事だと思っています。日々の仕事を通して感じた、京都の町屋とまちのつながり、くらしのなかの山や木とのつながりにについてのお話でした。

(記・桜井支部 松尾憲治)



エクスカーション「山とまちを望む景観」(Aコース)に参加して

1 はじめに

私はエクスカーションのAコース「山とまちを望む景観」に参加したので、以下にその報告を行う。地下鉄 丸太町駅で下車し、京都御苑、旧京都中央電話局上分局、河原町スカイマンションを散策し、三本木界限から山紫水明処までは2班に分かれて見学した。

2 三本木界限

三本木は京都御苑南西の敷地にあったが、江戸時代に御所が拡大し、町民は河原町丸太町付近へ移住した。鴨川や東山を眺める風光明媚な場所であったため、芸妓が移り住み、後に桂小五郎(木戸孝允)の妻となる幾松などの名妓が生まれた。花街として栄えたものの、明治初期には消滅した。1900(明治33)年、料亭 吉田屋跡へ京都法政学校、後の立命館大学が創設された。



3 圓通寺

圓通寺は丸太町通より北、三本木通の東側に佇む長屋門と長屋に囲まれた寺院である。戦前までは尼寺で、駆け込み寺として逃げてきた人たちの住居の役割を果たした。改修工事の関係者から説明を受け、外観を見学した。



4 山紫水明処

山紫水明処は丸太町橋北側の鴨川西岸に面し、鴨川を隔てて比叡山を含む東山を望むことができる。頼山陽は1822(文政5)年に移り住み、書斎兼茶室として使用した。東側の庭は砂敷に萩が植えられ、生垣で囲われている。西側の庭園は深さ2m、広さ1.5坪(5㎡)ほどの石積みの降り井を中心に飛び石がめぐらされ、植栽を施している。更に

石段で下っていくと、最下部には方形の井戸があるが、鴨川の改修工事に伴い、現在は枯渇している。生活・接客の空間として随所に工夫が見られる書斎を、当主に案内していただいた。



5 梨木神社

予定より早く終了したので、帰路にある梨木神社を見学した。明治維新に貢献した三條實萬・實美父子を祭神としている。境内には約500株の萩が植えられ、9月中旬～下旬には萩祭りが行われる。また、境内にある井戸水は「染井の水」と呼ばれる京都三名水(醒ヶ井・県井・染井)の1つで、現存するのはここだけである。ここは社殿の修復などの資金集めに苦慮し、参道を含む土地の一部を60年の期限付きでマンション開発業者に貸与した。鳥居正面に分譲マンションが建設され、非常に違和感を覚える。



6 おわりに

京都には素材が多く、飽きさせない魅力がある。しかし、維持費用を捻出するためとはいえ、境内の一部を売却するなど、景観が損なわれているところもある。残していきたい建築物やまちなみを良質なストックとして活用するためには、状態監視保全による最適な維持管理・機能保全を実施し、建築アセットマネジメントの導入が不可欠であると考えている。奈良ではどのように取り組んでいくのか、建築士会としても提案していきたい。

(記・情報・広報委員会・水守寛敏)



エクスカーション「町屋美術館見学」(Cコース)に参加して

「町屋美術館見学」

エクスカーションCは、～京商人の生活の知恵～を学ぶ、しんらん交流館から出発し、地下鉄烏丸線四条駅～御池駅までの京町中心部の散策。現在「京都芸術センター」として開設されている、元明倫小学校の学区内で、京都市の中央部に位置し、平安京以来、商業、経済の中心地として栄え、長い歴史と、そこに育てられた伝統を現在も伝承し、繊維の室町筋として、その名を知られています。



この町の中心的な存在であった明倫小学校は明治5年、下京区3区から下京3組、下京3学区を経て、昭和4年に明倫学区となり、現在は地域の単位となっています。この地域内に残さ

れている史跡の一部「町屋美術館」の見学・散策でした。

「無名舎」京都生活工芸館（吉田住宅）



新町六角を下がったところ、京呉服の間屋街「室町」の一角、六角町にあります。白生地卸商を営む京商家の典型というべき「表屋造り」で、明治42年に棟上げされた「京町家」。表通に面した店舗棟、中庭と玄関棟をへだてて住居棟、奥庭の後ろに土蔵2棟。これと通り庭で構成されています。間口10m、奥行き38mの短冊形の敷地に建つ総2階建てで、標準的な京町屋だそうです。所蔵する数々の生活工芸品を通して、江戸から明治、大正、昭和にかけての京商人の知恵と工夫を当主の吉田考次郎氏のレクチャーを受けながらの見学でした。

「紫織庵」京のじゅばん&町家の美術館（旧川崎家住宅）

初めに当主の説明がありました。建物は、大正15年、240坪の敷地に建てられた京の伝統的「大堀造」建築の代表例。この歴史的建築を利用した、京町家と着物の長襦袢の

ミュージアム。室町随一の豪商・四代目井上利助氏が江戸後期典薬まで昇進した名医・萩野元凱の医院跡地に、最新のライト様式のモダンな洋間を加えて新築し、昭和40年より平成9年まで、川崎家の本宅兼迎賓館として使用されていました。平成11年4月、京都市指定有形文化財の指定を受け、また京都府医学史研究会史跡にも指定されています。和室を数奇屋の名工・上坂浅次郎、洋館は日本の近代建築の父・京都帝国大学建築学科初代教授、武田五一が設計。



ほかにも凝った造りの茶室や、東山の山並をモチーフにした竹内栖鳳の欄間などもあり、近代の京町家の貴重な歴史資料となっています。また、広い廊下のガラス窓は、建築当初のもので、一枚も破損していないそうで、「ガラスが波打っている」今のガラスにはない趣がありました。一階

では祇園祭期間中の「屏風飾（屏風祭）」（一部写真撮影禁止）の様子を一年を通じて再現しているほか、二階では大正～昭和初期の華やかな長襦袢や染色資料を展示していました。

「三条通釜座町町家」通りからの見学

三条通近辺に釜を鋳る釜師が多く住んでいたことから釜座通と呼ばれるようになったそうです。千家十職の一つ釜師の美術館である「大西清右衛門美術館」もあり、代々の清右衛門の茶の湯釜の作品や釜の伝統と様式を公開されているそうです。

「西洞院 馬場染工業柳の水」表からの見学

この地は平安時代末期に崇徳院（1119～1164）の御所があった所で、清泉があり、千利休が茶の湯に用い、そばに柳の木を植え、水に直接に日が差すのを避けたと伝えられています。馬場染工業では、1870（明治3年）の創業時に、地下約100メートルから業務用に汲み上げ始め、以来1度も枯れずに今もお染・飲料水として使用しています

エクスカーションは、地下鉄御池駅で解散となりました。

（記・桜井支部 松尾憲治）



奈良県景観デザイン賞2016 受賞作品決定



知事賞・建築賞 Good job! Center KASHIBA, Good job! Center Studio

■所在地 香芝市下田西 ■施主 社会福祉法人わたぼうしの会
■設計者 一級建築士事務所 大西麻貴+百田有希/o+h
■施工者 大倭殖産株式会社、株式会社浅利工務店

奈良県建築士会では、本年新しく「奈良県景観デザイン賞2016」を開催することになりました。これは、奈良県の景観を魅力的にしている建物や修景を設計・施工されている方や、活動に取り組んでおられる方の努力をたたえ、景観についてより広く県民の方々に知っていただくことを目的としています。御存知の通り奈良県建築士会では昭和59年より毎年または隔年に実施されてきた「奈良県景観調和デザイン賞」という大変歴史のある事業がありました。一昨年に第16回を迎えて発足から30年を経過したときに、時代に沿ったデザイン賞のあり方を再考する機会を持ちました。実際に事業発足時から景観に対する考え方や活動は変化し、多岐にわたるようになったと考えます。議論の根本は「景観向上の意味合い」そして「建築士が景観に対してどのような働きかけができるか」ということでした。



景観調和賞 多摩美術大学 奈良古美術セミナーハウス

■所在地 奈良市窪之庄町
■施主 学校法人多摩美術大学
■設計者 多摩美術大学環境デザイン学科
岸本研究室 岸本章
■施工者 松井建設株式会社大阪支店



ランドスケープ賞 SAKURAの家

■所在地 生駒市俣口町
■施主 上田雅也
■設計者 井上久実設計室 井上久実
■施工者 株式会社伊藤嘉材木店

「景観とは何か」簡単そうで大変難解な問題提起。これを解決するために青年委員会に協力をいただき、「教育事業委員会」VS「青年委員会」というバトルステージを設け、半ばショー的ではありましたが「ディベート大会」を開催したところ大変盛り上がりしました。

奈良県の景観談義はとかく「古都修景」に偏りがちであります。さすがは若い建築士からの的を射た意見もあり「景観向上は周囲との調和が全てではない」という結論を得ることが出来ました。我々はまさにこの結果が、今を生きる世代の「景観」に対する考え方であるという確信を得ました。



リノベーション賞 陰影を生む小屋

- 所在地 葛城市北花内
- 施主 松村泰徳
- 設計者 松村泰徳建築設計事務所 松村泰徳
- 施工者 外装：株式会社 Yoshikawa
幕：梶谷テント商会
内装：松村泰徳建築設計事務所



活動賞 郵便庭園・郵便名柄館

- 所在地 御所市名柄
- 施主 御所市
- 設計者 庭園：木村智
名柄館：畿央大学人間環境デザイン学科
三井田研究室
- 施工者 株式会社ゴセケン

かくして第1回となる新しい「奈良県景観デザイン賞」が華々しくデビューするわけですが、審査員や審査基準、審査方法なども全て一新することになり、結果が出るまでの道のりはなかなか険しいものでした。従来の写真選考ではなくコンセプト等を伴ったプレゼンボードによる第一次選考を採用したため、他薦がほぼなくなり自薦が殆どを占める状態になりました。前回までは80作品程度集まったものが、今回は47作品となり募集で苦労したことは確かですが、作品のアピールが明確になったことから充実した審査になったように実感します。「建築士」の記事や案内による全国へのアピール、奈良芸術短期大学の学生によるポスターのデザインも募集に一役買ってくれたに違いありません。そのような意味でも民間の機関や建築士会連合会との共同作業が奈良県の景観をより広くすすめるために今後必要であると感じました。

私は部会長として新しいデザイン賞のスタートに関わることが出来て本当に幸せに思っています。しかし私達の目的はデザイン賞の開催や無事に終わることではありません。奈良県の景観意識が県民に広がるよう気を抜けない活動はまだまだ続くようです。

(教育事業委員会景観デザイン賞部会長 吉田泰造)

表彰式は3月11日土曜日に奈良県文化会館で開催されます。

当日は奈良県主催による景観フォーラムがあり、今回審査委員長をお受けいただいた長坂大先生による講演もございますのでみなさまぜひご参加ください。





近畿あーきてくと VOL.24 「山とまちと木造建築」 開催

2016年12月3日（土）に近畿あーきてくとが京都の真宗教化センターしんらん交流館にて開催されました。



第36回近畿建築祭と同日に行われ、奈良からは約100名の方が参加して頂きました。

今年度は「山とまちと木造建築」というタイトルで行われ奈良県からは、奈良をつなぐ家づくりの会の活動を発表させていただきました。

この奈良をつなぐ家づくりの会ですが、地域型住宅ブランド化事業による長期優良住宅補助制度のグループ応募化に伴い「地域の気候と風土に寄り添いながら職人の技能をいかした家づくりをしたい。日本の山の資源と職人を次世代につなげたい。」と、思いを同じくする木材生産関係者、地域の工務店、設計事務所によって、平成24年に設立した会です。



奈良をつなぐ家づくりの会

家づくりで大事にしている2つのこと

①木を使うこと

林業施業技術の継承につながるように

②職人の技能を生かすこと

職人技能の継承につながるように
“家づくりの現場は技能継承の場”

上記の内容を踏まえ、活動を行っています。

奈良 × つなぐ × 木の家 宣言

林業の継承と山の活性化のために

「県産材をふんだんに使い、ひとに優しく木の温もりを感じる家をつくります。」

技能の継承と次世代の担い手を育てるために

「職人（大工・左官）の仕事の多い現場をつくります。」

奈良の町並みをやさしくするために

「外観のよく見える部分に木を使い、外壁は左官工法でつくります。」

気候風土に合った「夏涼しく冬暖かい」家づくりのために

「夏場の強い日射を除け、家を雨から守るために、軒の深い家をつくります。」

「自然風を生かすために、風通しの良い家をつくります。」



活動内容

①吉野の森バスツアー

②木のマンションリノベーションセミナー開催

③近鉄電車 中吊り広告

奈良線にて一車両（8両編成）全車内広告

④建築技術者技能者の研修会・大工職人座談会

見学会（古民家改修現場・最先端の製材技術・十津川地域産材使用復興住宅等）異業種交流会省光熱水・低炭素等の家づくり勉強会・インターンシップ受け入れ

最後に

今回発表させていただき、身近な存在の奈良県林業を多くの方々に広めることが出来ました。また、2府4県の活動報告より隣接県とも連携を取りながら、山の保全そして職人の技能継承をより深く考えるきっかけになりました。

（記・桜井支部 吉田敦彦）



平成29年新年大交歓会 ～異業種とつながろう～

主催：一般社団法人 奈良県建築士会
協賛：一般財団法人 なら建築住宅センター

平成29年1月27日（金）橿原観光ホテルにて、平成29年新年大交歓会～異業種とつながろう～を一般財団法人なら建築住宅センター様の協賛を得て開催いたしました。

司会は、橿原支部の竹上由美様で滑らかなスピーチで進行していただきました。

洲上徳光会長の開催挨拶の中では、昨年の第59回建築士会全国大会大分大会やその他様々な事業への参加に対しお礼の言葉と、今年開催される全国大会京都大会への参加の案内がありました。

また挨拶の中で、近年の奈良県内の合格者数の減少を懸念されていました。（数年前までは、1級建築士は50名程度、2級建築士は、100名を超えていた合格者が、今回の奈良県内の1級建築士合格者数は23名、2級建築士は65名、木造建築士3名）

最後我々の建築知悉の向上にむけて、日々に進歩する技術を学ぶための見学会・技術講習会等の推進に務め、地域に貢献する活動に努めたいと話されました。



（奈良県建築士会 洲上徳光会長）

奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局、金剛一智局長様の来賓のご祝辞では、日頃の県政への支援に対しお礼の言葉と昨年12月の橿原支部の30周年式典へお祝いのお言葉をいただきました。

挨拶の中では、県政の予算について、まちづくり・防災・少子高齢化・福祉・教育・景観・環境・住宅・その他色々なテーマに沿って議論をかさねているところであること、平成29年は、様々な場面での支援協力と実りある成果が出る事への期待を話されました。



（奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局、金剛一智局長様）

記念講演 公立大学法人 奈良県立医科大学
MBT研究所 遊佐敏彦様
テーマ 「医学を基礎とするまちづくり」



（奈良県立医科大学MBT研究所 遊佐敏彦様）

早稲田大学理工学部建築学科卒業後、大学に残りまちづくりについて研究し、2012年から奈良県立医科大学に移り地域を含めたまちづくりを大学の中で行っています。



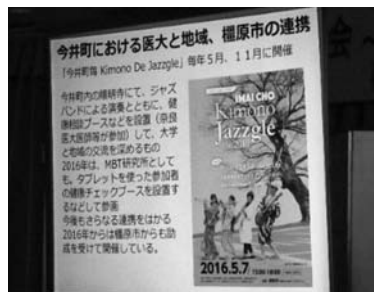
（昨年、NHKのニュースで紹介された内容）

地元医科大学が中心となり橿原市今井町でまちづくりの

新たな取り組みをしています。古くからある町並みで高齢化した町で安心して生活ができるように研究を進めています。その一つが住宅の天井に取り付けられたセンサー、住まいにいる人のわずかな動きでも感知して寝ているのか座っているのか更に呼吸の状態まで感知する事ができます。例えば一人暮らしのお年寄りが寝ている時に呼吸の状態まで察知することができ、大学病院にデータが送られるシステムです。見守られているという安心感が違います。次に目指しているのが、街中の賑わいづくりです。昨年、橿原市は、大学に空家を紹介するなど街づくりで協力する協定を結ばれました。高齢者だけの街になったらいけないので、若者がそれなりの働きをして、若者の姿が見えるようにしなければなりません。そういう社会に貢献したいと思っています。今、全国で80の医科大学があり、同じ事は全国でできると思うので、同様の状況のところがあれば、このことをお伝え授与したい。(奈良県立医科大学 研究所長 細井祐司様)

以上のような形で進めて、昨年4月に一般社団法人MBTコンソーシアムを作り、開発の研究者のチームで色々な開発を薦められています。

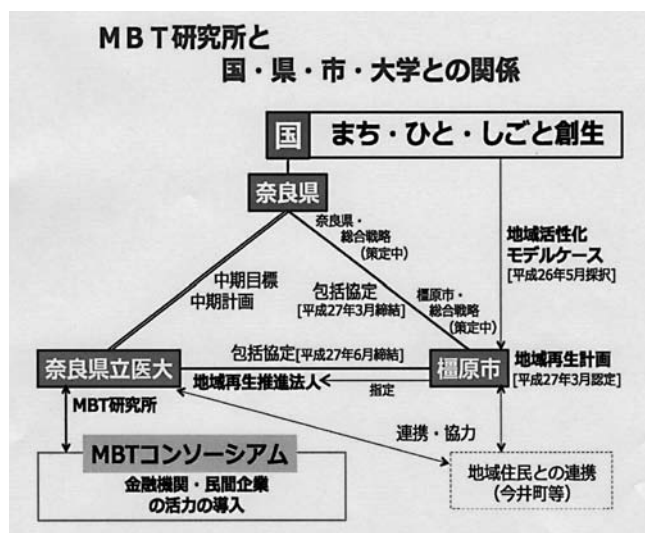
医学を基礎とするまちづくりは、元々早稲田大学で研究していたのですが、それぞれお互いに研究所を作って大学の中で強化されました。



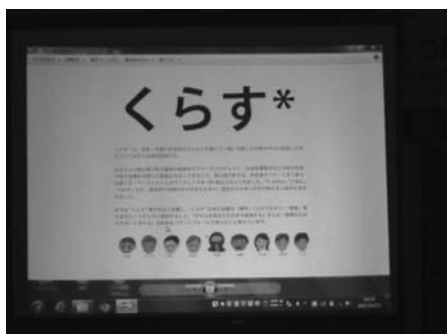
(奈良県立医科大学HPより抜粋)



奈良県立朱雀高等学校建築工学科長の松山義広様から、建築甲子園及び、地域の暮らしの活動についてご報告がありました。



続きまして、NPO法人くらすの小山豊様からまちづくり活動についてご報告がありました。



一般社団法人奈良県建築士事務所協会の植村吉延会長様による乾杯のご発声がありました。



懇親会の途中で、橿原支部の岡田則夫支部長より奈良県鉄構建設共同組合の針田勉理事長のご紹介がありました。



(奈良県鉄構建設共同組合針田理事長・岡田支部長)

つづいて、女性委員会の本保委員長より、昨年全国女性建築士連絡協議会奈良大会にて、パネルディスカッションのご参加をいただきました株式会社ライフケア創合研究所の湯川直紀代表取締役様のご紹介がありました。



(株式会社ライフケア創合研究所の湯川代表取締役様・本保委員長)

ブースコーナーでは、賛助会員様の展示を設けて、建築設計業務の参考資料とさせていただきました。

- ①福井コンピュータアーキテクト株式会社様、
- ②株式会社昌大建設様、
- ③株式会社建築資料研究社奈良支店様、
- ④株式会社櫻井様、
- ⑤クマリフト株式会社様、
- ⑥株式会社豊明様、
- ⑦報国エンジニアリング株式会社様

中締めといたしまして本会の米村副会長に挨拶をいただきました。



(記 総務・企画委員会委員長 藤浪 通)



青年委員会

一級、二級及び木造建築士合格者祝賀会・見学会

日時：平成29年 1月15日(日)

11:00～17:00

場所：重要文化財今西家書院（祝賀会）

古城園、依水園、入江泰吉旧居（見学会）



本年度も青年委員会では建築士試験合格者を対象に、建築士会に興味をもって頂き、活動の一部を体験して頂ける「祝賀会・見学会」を開催しました。大寒波の到来で、当日は雪が懸念されましたが、天気も持ちこたえ無事に合格者祝賀会・見学会が執り行われました。

祝賀会では森田青年委員長、立辻副会長の挨拶、本保女性委員長の乾杯の発声から食事と歓談がはじまりました。参加者はまだ緊張が取れず少し硬かったのですが、同世代の士会メンバーと試験での苦労話や仕事の話をしていくうちに打ち解けあい笑顔があちこちで見られた会でした。歓談、自己紹介などを行ったのち、青年委員会の活動をまとめたスライドショーを見て頂き、資質向上、地域貢献といった建築士会としての活動を知って頂きました。祝賀会の終了後は会場である重要文化財今西家書院の今西様の案内のもと内部を見学させて頂き、室町期の書院造りの遺構を肌で感じて頂けたと思います。



見学会では、藤山女性委員移動時の奈良公園の建築物や古城園、依水園の解説をして頂きました。庭の歴史、建築物の構造や造作などの解説に参加者も熱心に耳を傾けていました。



茶道の流派によって霜除けの敷き方が変わるのとは大変興味深かったです。何気なくまかれていた松葉も千家と聞くと「侘び」を感じます。言われて感じたのかも知れませんが。こうした新たな知識も加わり、和室研究をされている女性委員会の御協力で非常に奥深い見学会となりました。



見学会の最後は奈良を撮り続けた写真家、入江泰吉氏の旧居でした。徳矢青年委員が施工に携わったこともあり、図面等を交え施工時のエピソードなどを聞きました。今は大変綺麗で庭の眺めも素晴らしかったのですが、当時は草刈から始めるなど苦労の連続だったようです。



懇親会も半数以上の参加者の方との交流ができ、非常に楽しい会となりました。最後に準備に携わって下さった委員会メンバーの皆さま、見学会の案内をして頂きました女性委員会様他あらためて御礼申し上げます。

(記・青年委員会 谷 幸治)



生駒支部事業報告

「地震災害への備え」をテーマにした避難所運営ゲームの体験

1 はじめに

「地震災害への備え」をテーマに、避難所運営ゲーム体験を通じて建築士視点から見た災害への備えを語る事業を平群町中央公民館 2 階研究室にて開催した。

2 HUGとは

避難所(H)運営(U)ゲーム(G)は住民向けシミュレーション型訓練で、避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶことが目的である。大規模災害に伴い、平群町の避難所運営を任せたと想定し、到来する避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する方法をゲーム形式で会得するものである。

3 ゲームの手順

士会関係者 6 名、町役場関係者 5 名（図書館職員含む）、地元住民 2 名が参加した。進行役の森田氏を除き、プレイヤーを 2 つに班分けし、各班で記録係 1 名、発表担当 1 名を選出した。

あらかじめ間取図やHUGのカードセット、ポストイットなどを用意しておく。①避難者の情報などが書き込まれたカードや事態発生を知らせるカードを進行役が読み上げ、②プレイヤーは読み上げられた情報に基づいて避難者カードを配置し、事態発生への対応も決定する。③進行役はプレイヤーに時間的余裕を与えないよう次々にカードを読み上げ、記録役は状況への対応結果を適宜記録する。④ゲーム終了後、避難者の配置や事態対応の是非について意見交換を実施する。



4 意見交換

意見交換では「どのような課題があったのか」や「どのような備えや行動が求められるのか」などのオピニオンを集約し、具体的な課題・対策から最良の避難所運営方法を抽出した。

5 耐震化セミナー

体験会の締めくくりとして、森田氏を講師に耐震化セミナーを実施した。日本は世界有数の地震国であり、いつどこで大地震が発生しても不思議ではない。被災すれば多くの人々が避難所での生活を強いられることになり、その予防保全として建築物の耐震化は有効である。地震のメカニズム、建築物の耐震性の必要性、熊本地震被害の視察報告などを説明した。

6 おわりに

避難所を適切に運営するため、実際に利用する避難所（平群中学校）の図面を準備し、士会関係者・町役場関係者・地元住民とゲームを体験することで連帯感が生まれ、現場に合った避難所運営を検討することができた。一方で、これは個人的な意見になるが、アンケートなどを実施し、フィードバックや評価をデータベース化すれば、さらに発展した事業を継続していくことができるであろう。

（記・生駒支部・水守寛敏）

あすのす土曜講座

地震災害への備え

避難所運営ゲーム（HUG）の体験や
建築士の視点から見た災害への備えについて
語っていただきます。

建築相談も実施します

【講 師】（社）奈良県建築士会生駒支部の方々

場所 平群町中央公民館 2 階 研究室

日時 平成29年1月21日（土） 14時～17時まで

定 員：10名 ※定員になり次第締切
申込み：1月20日（金）まで
参加費：無料

避難所HUGは、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。
避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

【申込み・問合せ】
あすのす平群（平群町立図書館） ☎ 0745-46-1120 開館時間：9時～17時 ※土曜日のみ 19時まで
休館日：水曜日、祝祭日



青年委員会

春日大社国宝殿講演会および見学会

11月26日（土）「春日大社国宝殿講演会および見学会」を開催しました。国宝殿（旧宝物殿）は式年造替の今年、全面リニューアル工事を経て10月1日にグランドオープンした春日大社の国宝をはじめとする名宝を収蔵する美術館です。青年委員会では、このリニューアル工事で総合デザイン監修を担当された弥田俊男氏を講師に迎え、講演会を開催しました。

講師の弥田氏は、京都大学工学部建築学科で建築を学び、卒業後、隈研吾建築都市設計事務所に所属し、隈研吾氏のもと根津美術館、サントリー美術館など、数々のプロジェクトに参加されました。また、事務所から独立後は、弥田俊男設計建築事務所を立ち上げ、現在は岡山理科大学建築学科で准教授として教鞭も執られています。



当日は、講演会に先立ち、参加者の皆様には春日大社の神々を感じていただくために、御本殿の参拝をしていただきました。参加者の中には弥田氏が教鞭を執られている岡山理大からも多数の生徒さんに参加して頂いていたため、初めての春日詣となった方も多く見られました。また、参拝の道中では権禰宜の北野氏、学芸員の渡辺氏に境内にある建造物の解説をして頂きました。

今回の講演会は、国宝殿に新たに生まれたミュージアムカフェ「鹿音」様のスペースを特別に会場としてお借りし開催しました。このカフェも弥田氏が改修計画を監修されました。春日杉の太木で製作されたカウンターや折り重なる春日の柱をイメージした天井が特徴的で春日独自の趣のある空間になっています。

講演会では、今回のプロジェクトの設計コンセプトの「既存建築物をいかに活かしながら、新しい価値をもたせるか」がテーマにお話いただきました。この国宝殿は昭和47年に谷口吉郎氏の設計で建てられた収蔵庫を兼ねた美術館です。谷口氏の意匠を活かしながら、新たな価値「耐震性」「バリアフリー」「収蔵設備の更新と拡充」も大きなポイントになっています。展示室についてはサントリーや根

津のデザインを感じさせながら発展させたものになっており、弥田氏の美術館三部作と言ってよいのではないのでしょうか。



講演会の後、国宝殿へ移動し夜間の特別見学会を行いました。今回のリニューアルで目玉の一つでもある「鼉太鼓ホール」では、弥田氏より構造設計ポイントや照明や空調といった展示施設で重要な要素について解説いただきました。参加者からの質疑にも気軽に対応して頂き、国宝殿の空間を体感しながら、最前線で活躍する建築家の貴重な話を直接聞くことができた有意義な見学会となりました。



（後述）

実はわたくし武村も、ご縁がありこの改修プロジェクトの設計チームのスタッフとして参加させて頂いていました。今回、見学した国宝殿の他に修景整備工事も行いました。こちらも弥田氏の監修のもと実施したものです。なかでも新たに新設された境内トイレは鉄筋コンクリート壁を立ち上げ、その上に木造の合掌梁を掛けています。単純な構造になっていますが、これを実現するためには屋根材内に垂木を複雑にレイアウトするなど、外観からは想像できない緻密な構造設計で成し得た建物になっています。春日大社への参拝の際は、周囲の景観も含めこちらも是非、見学してみてください。（記・青年委員会 武村修宏）



お知らせ

Information

●おめでとうございます。

平成28年度一級建築士試験 合格者一覧（敬称省略） 23名（奈良県）

大岸奈保子	西田裕加里	佐藤 弘文	藤川 結華
山下 明恵	桑原 正弘	高山恵梨子	白井 良季
南 喬	出端 祐輔	小西 直樹	植淵 晴男
塩見 和弘	門脇 直也	仲永 明未	鈴木 晋司
戸野 高志	逢阪 武利	西 拓馬	多田 祥子
澁谷 知子	岩井 宏樹	和田 全立	

平成28年度二級建築士試験 65名（奈良県）

平成28年度木造建築士試験 3名（奈良県）

●2016高校生の「建築甲子園」奨励賞受賞

（公社）日本建築士会連合会主催の2016高校生の「建築甲子園」大会は、県内予選を経て本大会の審査結果が発表され、奈良県立奈良朱雀高等学校建築工学科の松山義広監督と選手2名（小田原星君、加藤徹大君）の応募作品「奈良田原本町駅前通り長屋」が奨励賞を受賞しました。

この表彰のため洲上会長が1月31日（火）に奈良朱雀高等学校を訪問して、監督と選手に表彰状と副賞を贈呈しました。



●平成29年度建築士試験日程の案内

1 平成29年一級建築士試験日程（予定）

①申込書配布	4月7日（金）～5月15日（月）
②申込受付	5月11日（木）～5月15日（月）
③「学科の試験」	7月23日（日）
④「学科」合格発表	9月5日（火）
⑤「設計製図の試験」	10月8日（日）
⑥「設計製図」合格発表	12月21日（木）

2 平成29年二級建築士試験日程（予定）

①申込書配布	3月31日（金）～4月24日（月）
②申込受付	4月20日（木）～4月24日（月）
③「学科の試験」	7月2日（日）
④「学科」合格発表	8月22日（火）
⑤「設計製図の試験」	9月10日（日）
⑥「設計製図」合格発表	12月7日（木）

3 平成29年木造建築士試験日程（予定）

①申込書配布	3月31日（金）～4月24日（月）
②申込受付	4月20日（木）～4月24日（月）
③「学科の試験」	7月23日（日）
④「学科」合格発表	9月5日（火）
⑤「設計製図の試験」	10月8日（日）
⑥「設計製図」合格発表	12月7日（木）

※申込受付については（一社）奈良県建築士会にて行う他に郵送やインターネットでも受付できる場合があります。

※詳細は（公財）建築技術センターのホームページをご覧ください。

●平成29年度通常総会の日程

日 時：平成29年5月19日（金）

17：00頃～（予定）

場 所：奈良県文化会館

議 事：平成28年度事業報告及び決算承認

平成29年度事業計画及び予算承認

事業報告会 18：00頃～（予定）

懇親会 19：00頃～（予定）

※正会員の皆様は、後日送付いたします通常総会の案内に付いている出欠表を提出いただきますようお願いいたします。なお、残念ながら欠席される場合には、必ず委任状も記載したうえでご返送頂きますようお願いいたします。

●平成29年度一級・二級・木造建築士定期講習についての お知らせ【第1期】（予定）

平成29年度の定期講習は（一社）奈良県建築士事務所協会が受付を行います。

講習会日時：平成29年6月7日（水）

場 所：奈良県産業会館（大和高田市）

定 員：100名（申込先着順）

受付期間：4月10日～28日

※平成29年度の第二期以降の定期講習は日程、開催場所等の詳細が決定次第、随時会報誌等でお知らせいたします。

※詳しくはTEL 0742-34-8850までお問い合わせください。

●訃報

平田 勝様（桜井支部）2月

ご冥福をお祈りいたします。

新入賛助会員のご紹介

会 社 名	代 表 者	住 所	T E L
（株）豊 明	岡 本 高 光	奈良県北葛城郡王寺町畠田 8-1757-3	0745-32-7198
報 国 エ ン ジ ニ ア リ ン グ（株）	塚 本 英	豊中市大黒町 3-5-26	06-6336-0228

編集後記

最近、実家の前の空き地が分譲されて3件の住宅が建ったのですが、3軒とも違うメーカーが受注しました。

最初に建て始めた家は、早朝から夜まで、日曜祝日まで休みなしで工事を行い、あっという間に建ててしまいました。今どきの工務店はここまでしないとやっていけないのか、大変だなと思っていると、2軒目の住宅は、それに加えてとにかく人数が少ない。一人で作業していることも多く、上には上がいるなあ后感心しました。3軒目は棟上げの予定日になっても基礎しか出来ておらず、どうなっているのだろうと思っていたら、コンテナ大のユニットをクレーン

で積み上げて半日で完成してしまいました。

3社3様で興味深く見ていたら、近所のおばちゃん曰く「なんや同じようなばっかり建ったなあ」とのこと。確かに3軒とも色も形も大きさも似ています。どう建てたかなって普通の人は興味ない訳で、このおばちゃんの言葉が一番印象に残りました。

(記・大倉克之)

Calendar

2017年3月

- 11(土) 奈良県景観デザイン賞表彰式
奈良県地域文化財建造物専門家スキルアップ講習会第5回
- 18(土) 奈良県地域文化財建造物専門家スキルアップ講習会第6回
- 22(水) 住宅無料相談会 (奈良県建築士会館)
- 24(金) 理事会 (奈良県建築士会館)
- 27(月) 監理技術者講習
- 31(金) 二級・木造建築士試験申込書配布

4 / 24まで

Calendar

2017年4月

- 3(月) 二級・木造建築士試験申込郵送受付
- 7(金) 一級建築士試験申込書配布
- 17(月) 一級建築士試験申込郵送受付
- 20(木) 二級・木造建築士試験申込対面受付
- 27(木) 理事会 (奈良県建築士会館)

4 / 17まで

5 / 15まで

5 / 1まで

4 / 24まで

士會奈良

通巻612号

平成29年3月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 瀧上 徳光

編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会

印刷所 株式会社 明新社

日本で最も多くの1級建築士を輩出し続けている学校です。

※平成24~28年度(過去5年累計)1級建築士設計製図試験 合格者合計19,562名中、当学院受講生10,636名、全国合格者占有率54.4%。平成28年度1級建築士設計製図試験 全国合格者3,673名中、当学院現役受講生1,957名、全国合格者占有率53.3%。

平成28年 1級建築士 設計製図試験

奈良県
合格者占有率

No.1

奈良県 合格者占有率

60.9%

奈良県合格者23名中、当学院現役受講生14名

平成28年 2級建築士 設計製図試験

奈良県 ストレート合格者占有率

平成28年度
学科+設計製図

46.7%

奈良県ストレート合格者45名中、当学院現役受講生21名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 <1級建築士実績:平成28年12月15日現在> <2級建築士実績:平成28年12月1日現在>

開講
迫る!!

平成29年度
1級・2級建築士
学科対策講座

1/15日・18日

1月開講日
お申し込みは
お早め!

1級・2級 建築士
1級 管工事施工管理技士

建築設備士
設備設計・設備設計1級建築士

1級・2級 建築施工管理技士
宅地建物取引士

1級・2級 土木施工管理技士
インテリアコーディネーター



総合資格学院

学院長 岸 隆司



総合資格

検索

Facebook「総合資格」で検索

スクールサイト

www.shikaku.co.jp

コーポレートサイト

www.sogoshikaku.co.jp

奈良校 TEL.0742-30-1511

奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

近鉄大和西大寺駅北口から徒歩5分